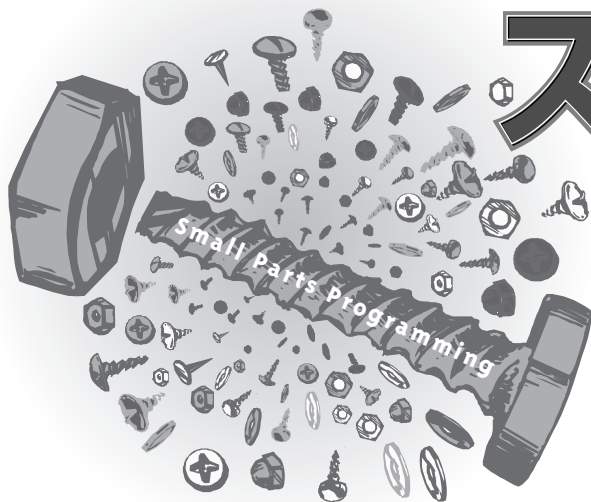


# VB.NET

コンポーネント活用講座  
～ 教養課程 ～



## スモールパーツ プログラミング

第10回

小森 大輔 KOMORI, Daisuke

### ListBox コントロール ～ Part 2 ～

#### Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

#### Level

#### Samples

・この記事で取り上げたソースコードおよびサンプルプログラムは、付録CD-ROMの¥DOTNET¥SMALLディレクトリに収録しています。

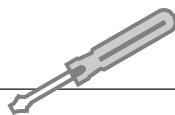
¥INTEGRALHEIGHT  
IntegralHeight プロパティの使用例

¥SORTED  
Sorted プロパティの検証

¥SELECTIONMODE  
SelectionMode プロパティの使用例

¥SELECTED  
選択されたアイテムを取得する方法

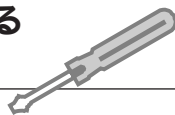
#### はじめに



本連載は、Visual Basic .NET (以下VB.NET) の標準コントロールにスポットを当て、とことん使い込んで、その機能や役割を探ってゆきます。

今回は、ListBox コントロールについて、アイテムの追加や削除を行なう方法に絞ってご紹介しました。今回は、ListBox コントロールの表示に関するさまざまなプロパティや、選択されたアイテムの取得について見てゆきたいと思います。

#### 表示に関する プロパティ



ListBox コントロールには、表示に関するプロパティが多数あります。これらのプロパティは、ListBox コントロールをその用途に応じて使いやすくするものです。

#### ◆ 複数列の表示 / 非表示 (MultiColumn)

MultiColumn プロパティは、ListBox コントロールが複数列を表示することができるかどうかを表わします。このプロパティをTrueに設定すると、ListBox コントロールの高さに収まりきれないアイテムは、他の列に表示されるようになり、垂直のスクロールが不要になります。

MultiColumn プロパティをTrueに設定したListBox コントロールでは、コントロールの幅に収まりきれない列がある場合には、後述するHorizontalScrollbar プロパティの値に関係なく水平スクロールバーが表示されるようになります。

また、ScrollAlwaysVisible プロパティの値に関係なく、垂直スクロールバーは表示されません。

図1は、MultiColumn プロパティをTrueに設定し、100個のアイテムを追加したListBox コントロールです。



図1: MultiColumn プロパティをTrueに設定

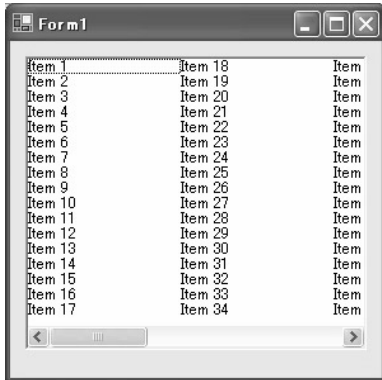


図2: ColumnWidth プロパティを“50”に設定

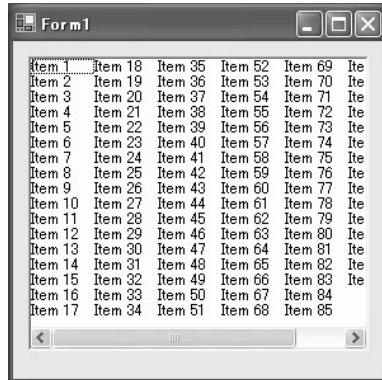
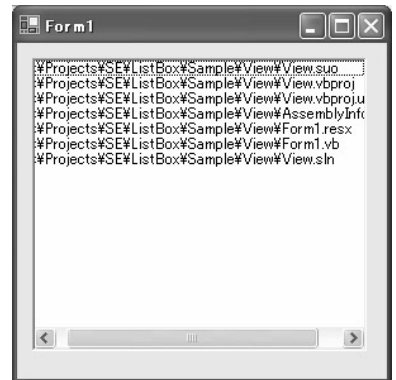


図3: HorizontalScrollbar プロパティを True に設定



### ◆ 複数表示した列幅の調整 (ColumnWidth)

ColumnWidth プロパティは、MultiColumn プロパティをTrueに設定して複数列を表示したListBoxコントロールの「各列の横幅」を適切に調整するために使われます。

図2は、図1のListBoxコントロールのColumnWidthプロパティを“50”(単位はピクセル)に設定したときの実行画面です。アイテム文字列の長さ合った列幅にすることにより、表示されるアイテム数が多くなり、ユーザーはスクロールせずにアイテムを選択できるようになります。

### ◆ 水平スクロールバーの表示 / 非表示 (HorizontalScrollbar)

HorizontalScrollbar プロパティは、ListBoxコントロールに水平スクロールバーを表示するかどうかを表わします。このプロパティをTrueに設定すると、アイテムがListBoxコントロールの幅に収まりきらない場合、水平スクロールバーが表示されて収まりきらない部分を確認できるようになります。

図3は、HorizontalScrollbar プロパティをTrueに設定して、ListBoxコントロールの幅よりも長いアイテムを挿入したときの画面です。

昔のバージョンでは、Windows APIを使用して水平スクロールバーを表示する方法がFAQとなっていたのを思い出します(といったようなひと言が、歳を感じさせる時代になりつつあるのでしょうか.....)

### ◆ スクロール可能な幅の設定 (HorizontalExtent)

HorizontalExtent プロパティは、HorizontalScrollbar プロパティをTrueに設定して水平スクロールバーを表示したListBoxコントロールの「スクロール可能な幅」を表わします。このプロパティの値がアイテムの長さ未満の場合には、アイテムをすべて表示することができなくなります。

図4は、図3のListBoxコントロールのHorizontalExtent プロパティの値を“500”(単位はピクセル)に設定したときの実行画面です。図3よりスクロールできる幅が広がっていることを確認できるでしょうか?

### ◆ スクロールバーを常に表示 (ScrollAlwaysVisible)

ScrollAlwaysVisible プロパティは、垂直スクロールバーを常に表示するかどうかを表わします。デフォルトで

図4: HorizontalExtent プロパティを“500”に設定

